

# 「こおりやまの米」通信

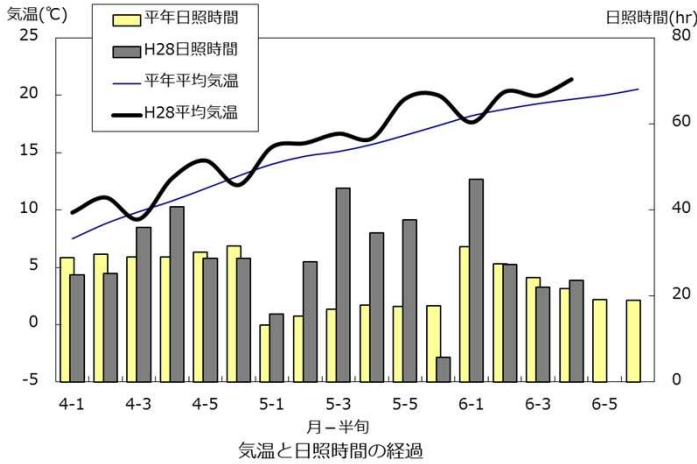


平成28年7月1日

編集：郡山市  
 JA福島さくら郡山地区本部 (TEL. 921-0533)  
 NOSAI福島郡山田村支所 (TEL. 933-3307)  
 県中農林事務所農業振興普及部 (TEL. 935-1310)  
 発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市園芸畜産振興課 TEL.924-3761)

Vol.6 次号は7月中旬(穂肥等)

\* 最新号はJA各支店窓口にもそなえてあります



## 1 生育概況

7月1日の生育調査の結果は、平年に比べコシヒカリ、ひとめぼれ、天のつぶの草丈が短く、湖南のあきたこまちが長かった。

また、株あたり茎数は概ね平年並みであったが、㎡あたり茎数は各調査地点で株間が広がったために平年より少なかった。

## 2 天気予報

### <東北地方 1か月予報>

(6月30日 仙台管区气象台発表)

期間を通して気温は高く推移し、特に前半は気温がかなり高くなる可能性があります。降水量は多く、日照時間は少ない見込みです。

### 【管内主要品種の生育の目安です】

| 品種             | 幼穂形成始期<br>(予想日) | 出穂期<br>(平年値) | 乳熟期<br>(予想日) |
|----------------|-----------------|--------------|--------------|
| ひとめぼれ          | 7月11日           | 8月5日         | 8月12～15日     |
| あきたこまち<br>(湖南) | 7月12日           | 8月6日         | 8月13～16日     |
| 天のつぶ           | 7月13日           | 8月7日         | 8月14～17日     |
| コシヒカリ          | 7月17日           | 8月11日        | 8月18～21日     |

※出穂期：全穂数の約半分が出穂した日

※幼穂形成始期：主茎3本の80%以上の幼穂が1mmに達した日

※乳熟期：乳熟期は籾を指で押しつぶすと乳液状の時期

曇天・高温が続く天気予報となっています。

- ・黄色く丈の長いバカ苗を見つけたら、感染が拡大する前に株元から抜き取りほ場から持ち出しましょう。
- ・曇りや雨でも熱中症になる可能性があります。

こまめな休憩と水分補給を！

病害虫の発生初期は車の中からの観察では気づくことができません。

ほ場内をよく観察し、早めの対策を取るよう心がけましょう。

## 7月1日 生育調査結果

| 品種<br>(調査地点)   | 年次       | 草丈<br>(cm) | 茎数(本) |      |
|----------------|----------|------------|-------|------|
|                |          |            | 株あたり  | ㎡あたり |
| コシヒカリ<br>(三穂田) | 本年       | 50.3       | 30.7  | 448  |
|                | 平年比(%)・差 | 94         | 97    | 82   |
| コシヒカリ<br>(田村)  | 本年       | 59.0       | 30.3  | 564  |
|                | 平年比(%)・差 | 92         | 101   | 96   |
| ひとめぼれ<br>(安積)  | 本年       | 44.4       | 26.8  | 410  |
|                | 平年比(%)・差 | 93         | 88    | 86   |
| 天のつぶ<br>(三穂田)  | 本年       | 47.9       | 24.6  | 448  |
|                | 前年比(%)・差 | 94         | 100   | 89   |
| あきたこまち<br>(湖南) | 本年       | 43.0       | 24.4  | 395  |
|                | 平年比(%)・差 | 108        | 108   | 91   |

| 日                       | 月  | 火                        | 水  | 木             | 金  | 土  |
|-------------------------|----|--------------------------|----|---------------|----|----|
| 7/3                     | 4  | 5                        | 6  | 7             | 8  | 9  |
| 幼穂形成期までに<br>中干し終了       |    | 中干し後は間断かん水<br>(低温時は深水管理) |    |               |    |    |
| 10                      | 11 | 12                       | 13 | 14            | 15 | 16 |
| 穂いもち防除(粒剤)(散布後は7日間以上止水) |    |                          |    |               |    |    |
| 穂肥 ひとめぼれ                |    | 穂肥 天のつぶ                  |    | 穂肥 あきたこまち(湖南) |    |    |
| 中干し後は間断かん水              |    |                          |    |               |    |    |
| 17                      | 18 | 19                       | 20 | 21            | 22 | 23 |
| 中干し後は間断かん水              |    |                          |    |               |    |    |
| 除草                      |    |                          |    |               |    |    |
| 24                      | 25 | 26                       | 27 | 28            | 29 | 30 |
| 中干し後は間断かん水              |    |                          |    |               |    |    |
| 除草                      |    | 穂肥 コシヒカリ                 |    |               |    |    |

※おおよその栽培管理の目安です。田植え日の違いや実際の天候により変動する可能性があるため、ほ場をよく観察し、適期に栽培管理を行いましょう。

平成29年作付用水稲種子の受付が始まっています。  
 ご注文はお早めに！！  
 詳しくはお近くのJA各支店へお問い合わせください。

## 【注意報発表中！斑点米カメムシ類が平年より多く確認されています！】

### 3 カメムシ類対策

- (1) 畦畔雑草の管理: 2～3回の草刈りで幼虫・成虫ともに大幅に密度が低下します。ただし、出穂期前後はカメムシを水田内に追い込む場合があるので、草刈りは出穂10日前までとします。
- (2) 1回目の防除: 粉剤、液剤等による防除は、乳熟期を基本とします。粒剤を使用する場合は、穂揃期～乳熟期に湛水状態で散布します。
- (3) 追加防除: その後も発生が見られる場合は7日おきに追加防除を行いましょ。
- 割れ籾はカメムシによる吸汁を助長します。割れ籾の発生しやすい品種(あきたこまち、天のつぶ)では、出穂20日後頃の追加散布が重要ですので、乳熟期と出穂20日後の2回散布を基本にしましょ。

| 薬剤名           | 使用量                        | 使用回数         | 使用時期         |
|---------------|----------------------------|--------------|--------------|
| ※MR.ジョーカー粉剤DL | 3～4kg/10a                  | 2回以内         | 収穫<br>7日前まで  |
| スタークル粒剤       | 3kg/10a                    | 3回以内         |              |
| キラップフロアブル     | 1000～2000倍、<br>60～200L/10a | 合わせて<br>2回以内 | 収穫<br>14日前まで |
| キラップ粒剤        | 3kg/10a                    |              |              |

※蚕に対する毒性の強い農薬であり、使用規制地域を確認のうえ使用しましょ。



### 4 穂肥(出穂25日前の生育状況で判断します。)

- (1) ひとめぼれ、あきたこまち、天のつぶは、出穂25日前にチッソ成分2kg/10aを基本とします。コシヒカリは、倒伏しやすいので出穂15日前にチッソ成分2kg/10aを基本とします。有機質肥料の場合は、ゆっくり効くので、5日程度早く施用しましょ。
- (2) 出穂25日前に生育を確認し、草丈が長く葉色の濃いほ場は、穂肥の量を減らすか時期を少し遅らせましょ。また、出穂5日前以降の実肥は、玄米タンパク質が高まり食味が低下するので行わないようにしましょ。
- (3) 幼穂長による出穂前日数の判定方法は右表のとおりです。出穂期は天候により変化しますので幼穂長を確認しましょ。
- (4) 基肥一発肥料の場合は、原則として穂肥は行いません。適正な穂肥を実施し、倒伏による放射性物質汚染を防ぎましょ。

#### 出穂25日前の生育の目安

| 品種     | 草丈      | 葉色      |
|--------|---------|---------|
| ひとめぼれ  | 60～65cm | 3.5～4.0 |
| コシヒカリ  | 65～70cm | 3.0～3.5 |
| あきたこまち | 55～60cm | 3.5～4.0 |

#### 出穂まで日数の判定方法

| 幼穂長     | 出穂前日数 | 備考     |
|---------|-------|--------|
| 1mm     | 25日   | 幼穂形成始期 |
| 2mm     | 20日   |        |
| 8-15mm  | 18日   |        |
| 40-60mm | 14日   |        |
| 80mm    | 12日   | 減数分裂期  |

### 5 いもち病対策

- いもち病に感染しやすい気象条件となっています。感染の危険が高まっていますので注意してください。
- (1) 早期発見・早期防除につとめ、葉いもちの病斑を発見したらすぐに液剤や粉剤等で防除しましょ。
- (2) 穂いもち予防する場合は、コラトップ粒剤5(3～4kg/10a: 出穂30～5日前まで)等を散布しましょ。

平成28年度  
農薬危害防止運動実施中

#### 農薬のボトル等の適正処理の おねがい

農薬のボトル等の農業用使用済プラスチック類は「産業廃棄物」となるため、ごみ集積場やクリーンセンターへの搬入はできません。JA福島さくらでは回収処理代行を実施しており、次の回収は11月下旬の予定です。詳しくはお近くのJA支店へお問い合わせください。

